

足の不調と疾患／ 下肢静脈瘤に関する意識調査2021

【調査結果速報】

調査概要

調査目的

2021年7月時点における、下肢静脈瘤が疑われる患者（対象症状経験者）の規模、対象症状経験者の症状に対する意識と行動、下肢静脈瘤の浸透度の3点について把握すること

調査手法

インターネット調査

調査対象・サンプル数

【事前調査】

■ 調査対象条件

全国に住む 30代以上の男女

■ 回収方法

日本の人口構成比（性年代）に合わせるように
目標サンプルを設定し回収

■ 回収有効サンプル数

計 60,000人 【内訳】

性別	年齢	回収サンプル数
男性	30代	5,181
	40代	6,087
	50代	5,055
	60才以上	12,238
女性	30代	5,068
	40代	5,993
	50代	5,088
	60才以上	15,290

【本調査】

■ 調査対象条件

事前調査で、下肢静脈瘤が疑われる足の不調症状*いずれかを感じたことがある、
と回答した30代以上の男女

*「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」

■ 回収方法

事前調査の対象条件合致者の性年代構成比に合わせて目標サンプルを設定し回収

■ 回収有効サンプル数

計 2,475人 【内訳】

性別	年齢	回収有効サンプル数
男性	30代	79
	40代	96
	50代	95
	60才以上	371
女性	30代	188
	40代	301
	50代	322
	60才以上	1,023

調査実施期間

2021年6月24日～7月4日

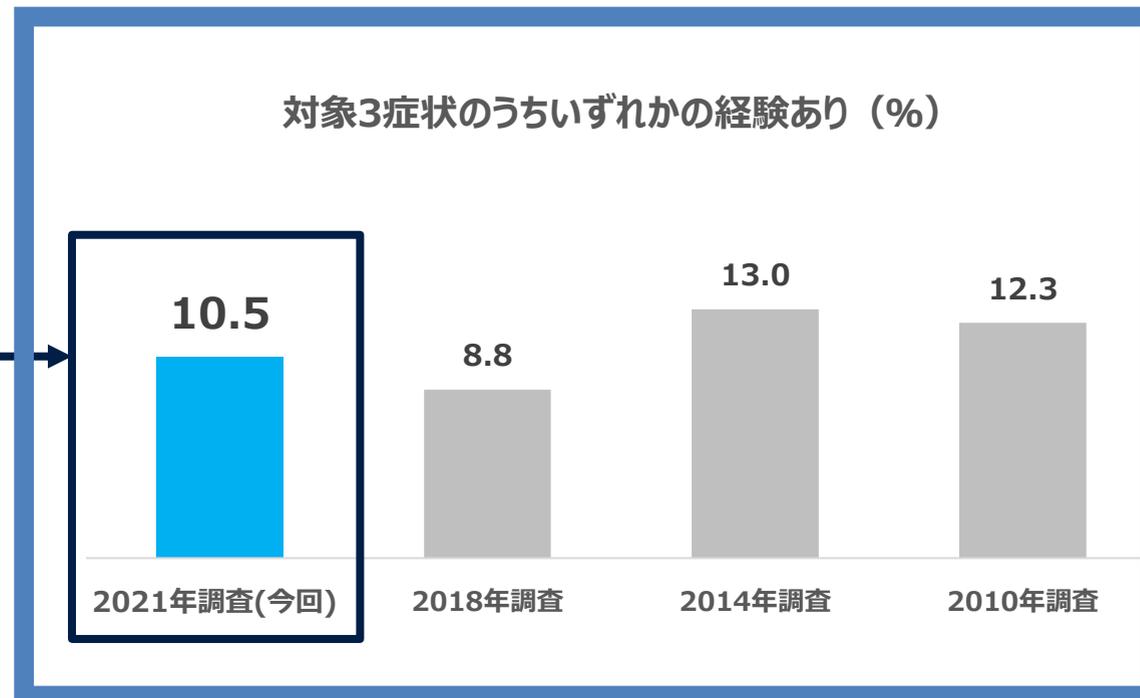
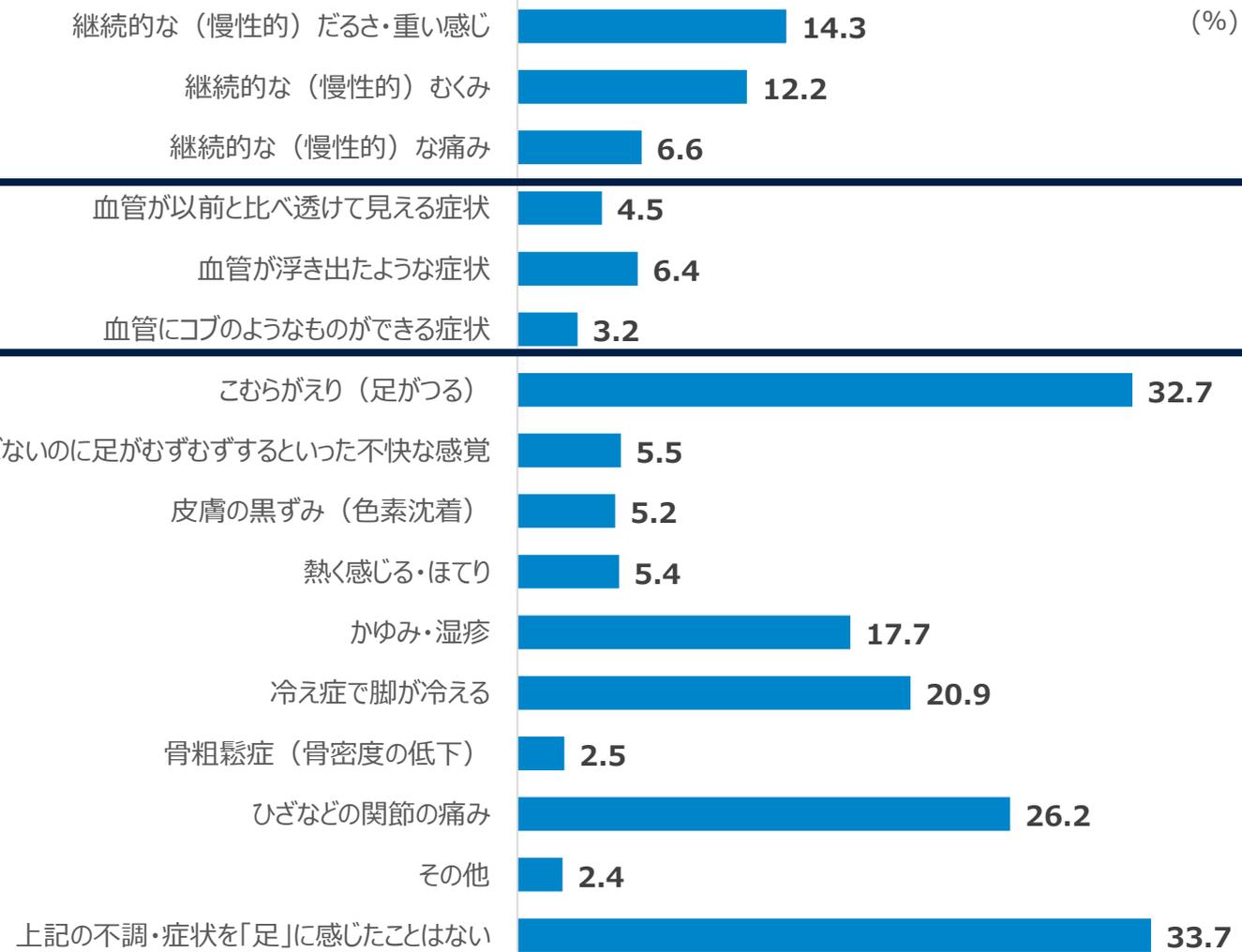
調査結果

■ 下肢静脈瘤が疑われる人の規模

30代以上の男女における、対象3症状のうちいずれかの経験者は10.5%

Q. あなたは、下記のような「足」の不調・症状を感じたことがありますか?あてはまるものを全てお選びください。

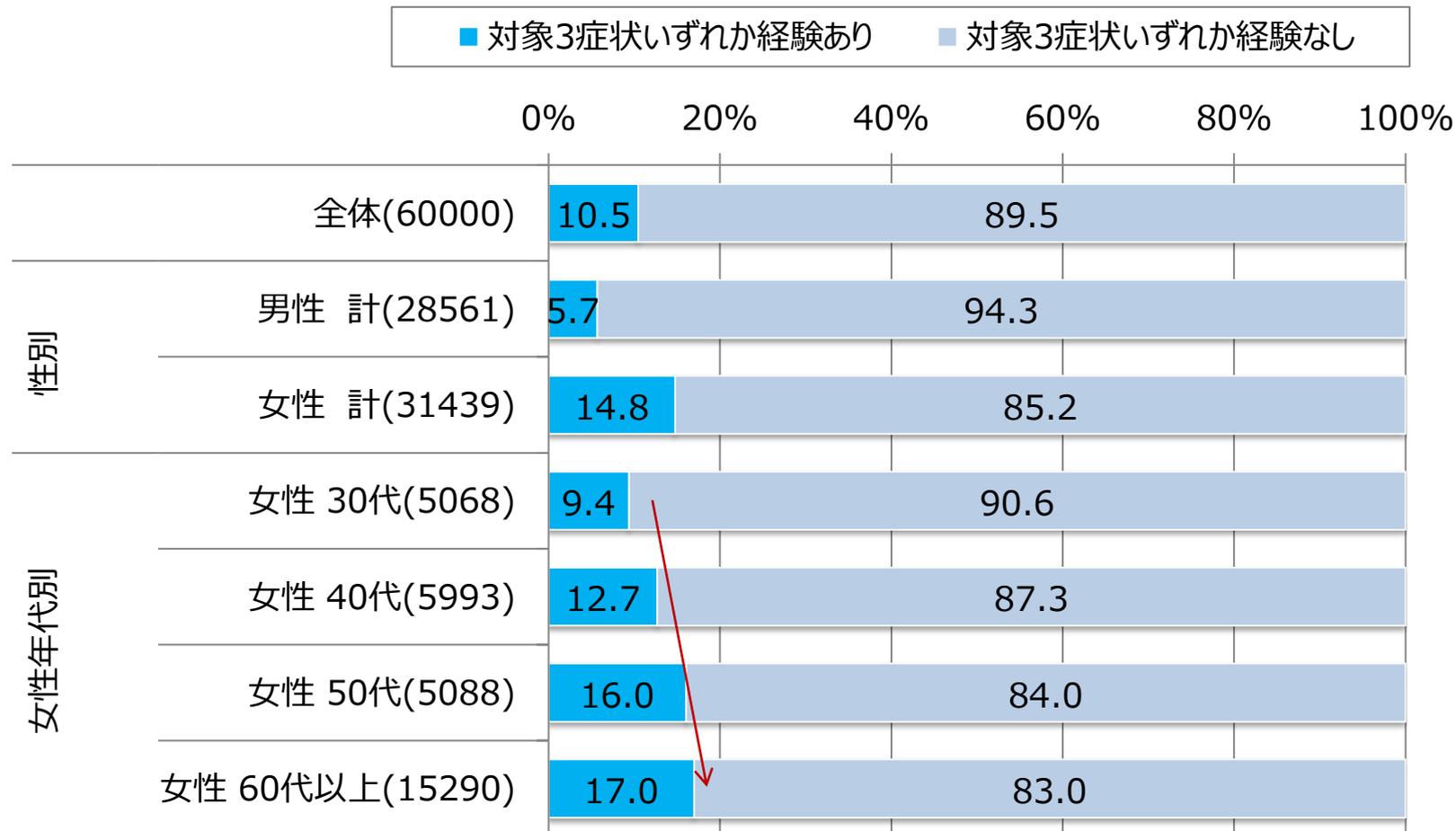
N=60,000



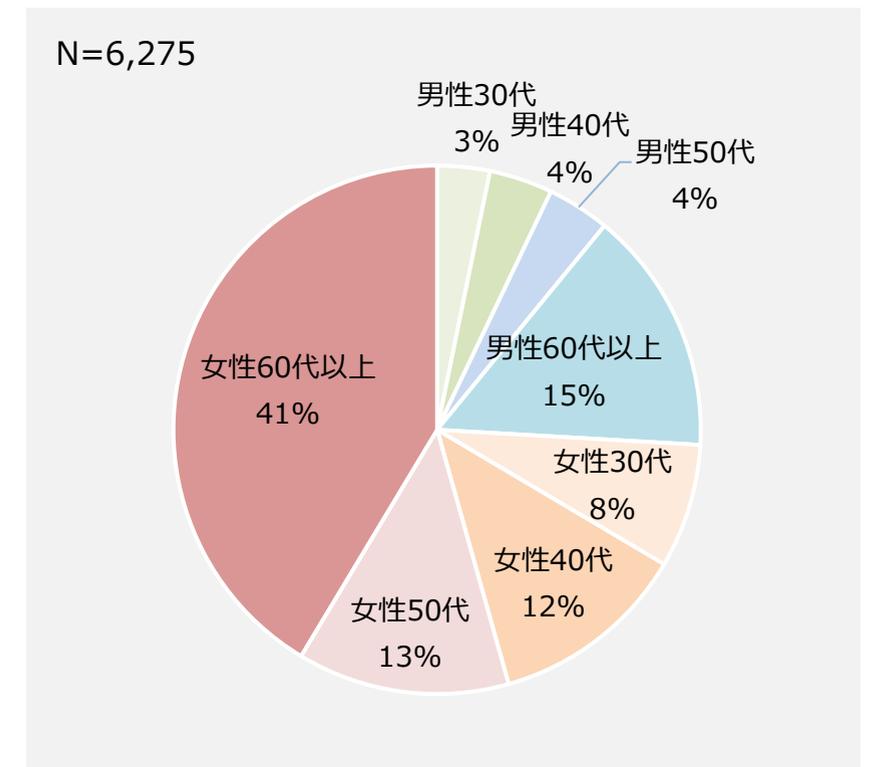
■ 下肢静脈瘤が疑われる人の比率（属性別）

性別では、女性の症状経験率が14.8%
女性年代別では高齢層になるほど経験率があがる

SQ1 属性別 対象3症状のうちいずれかの経験率



対象3症状のうちいずれかの経験者の性年代構成比



■ 下肢静脈瘤が疑われる症状の受診状況

相談・治療経験者の割合は、いずれの症状も前回（2018年）と同レベル

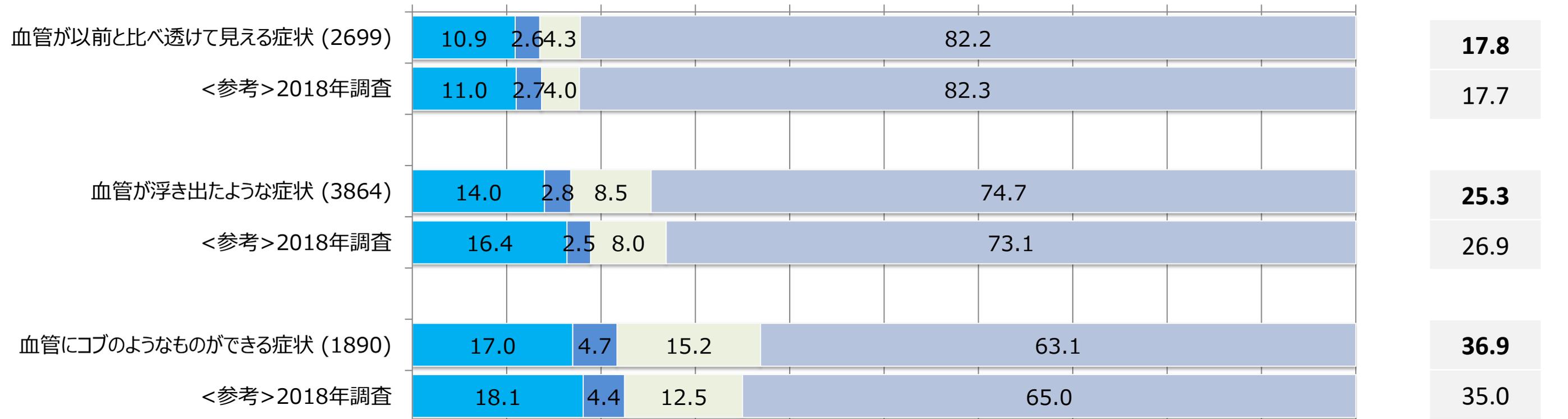
3症状のうち、「血管にコブのようなものができる症状」の相談・治療経験は36.9%で最も高い

Q. あなたが前問で感じたことがあると回答した「足」の不調・症状について、医師に相談したり・治療を受けたことはありますか？（それぞれひとつずつ）

集計対象：各症状経験者

- 相談したことがある（通院・治療を受けたことはない）
- 現在、通院・治療を受けている
- 過去に通院・治療を受けたことがある
- 医師の相談・治療を受けたことはない

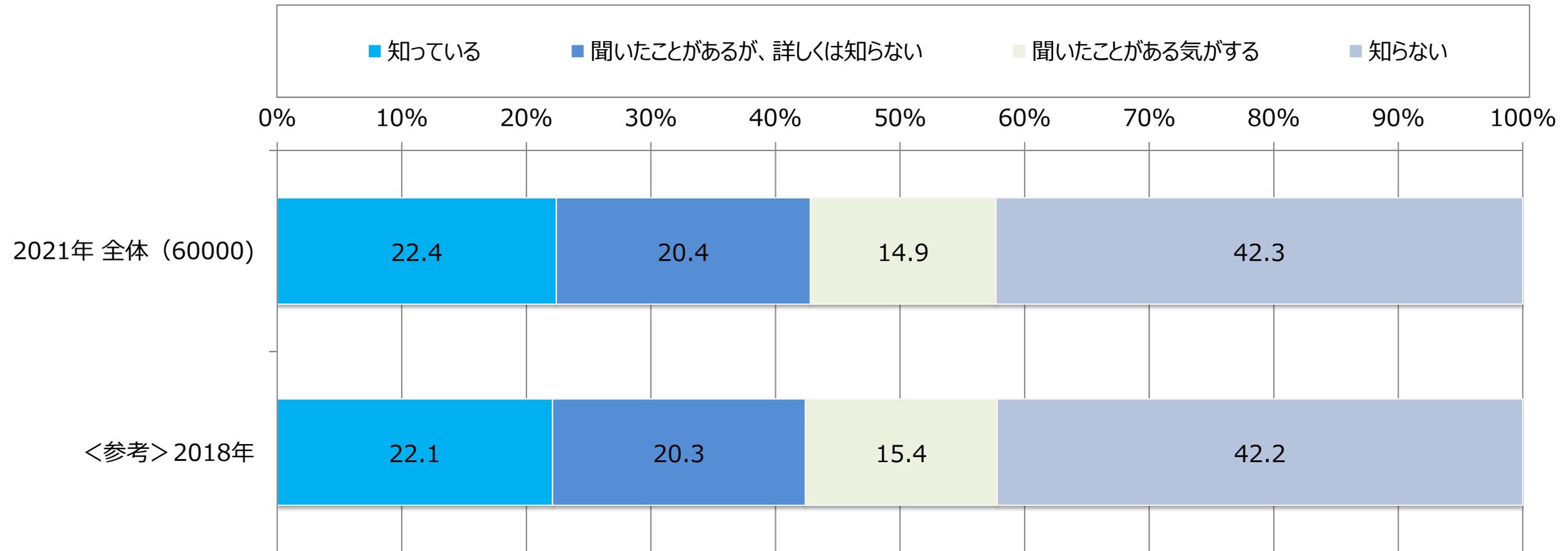
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 下肢静脈瘤の認知（全体）

30代以上の男女における、疾患認知は22.4%で前回（2018年）と同レベル

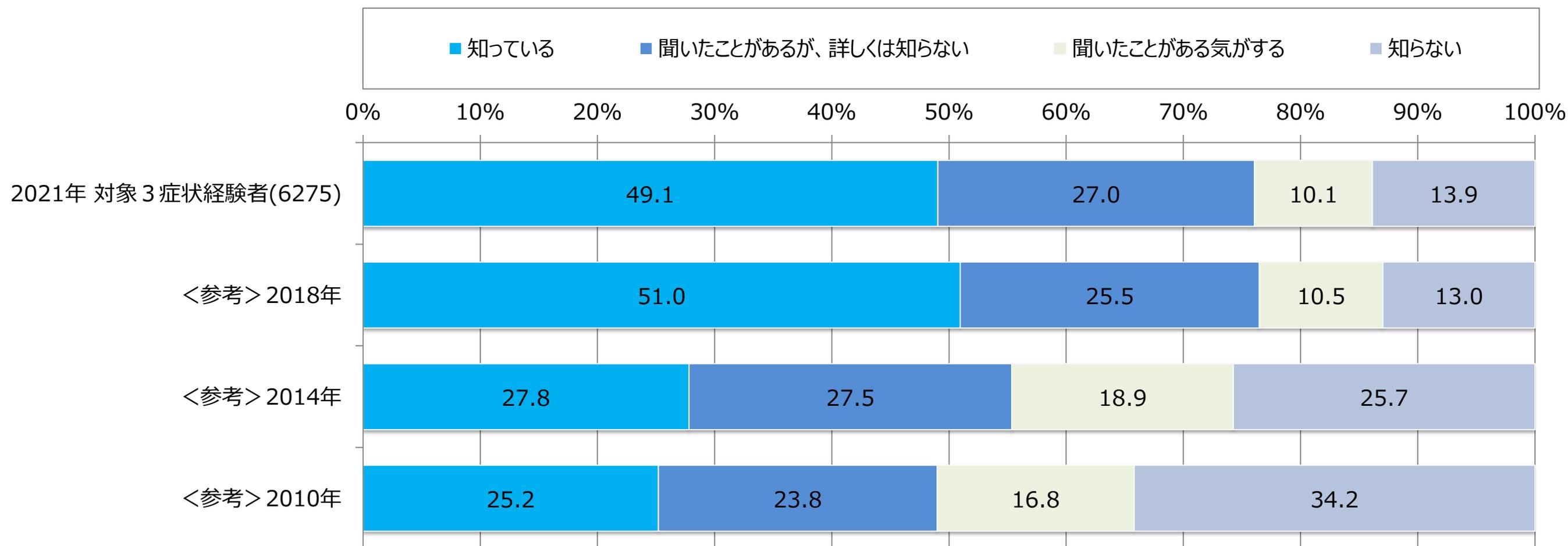
Q. あなたは、「下肢静脈瘤」という病気を知っていますか？



■ 下肢静脈瘤の認知（対象3症状経験者）

症状経験者における、疾患認知は49.1%で前回（2018年）と同レベル

Q. あなたは、「下肢静脈瘤」という病気を知っていますか？



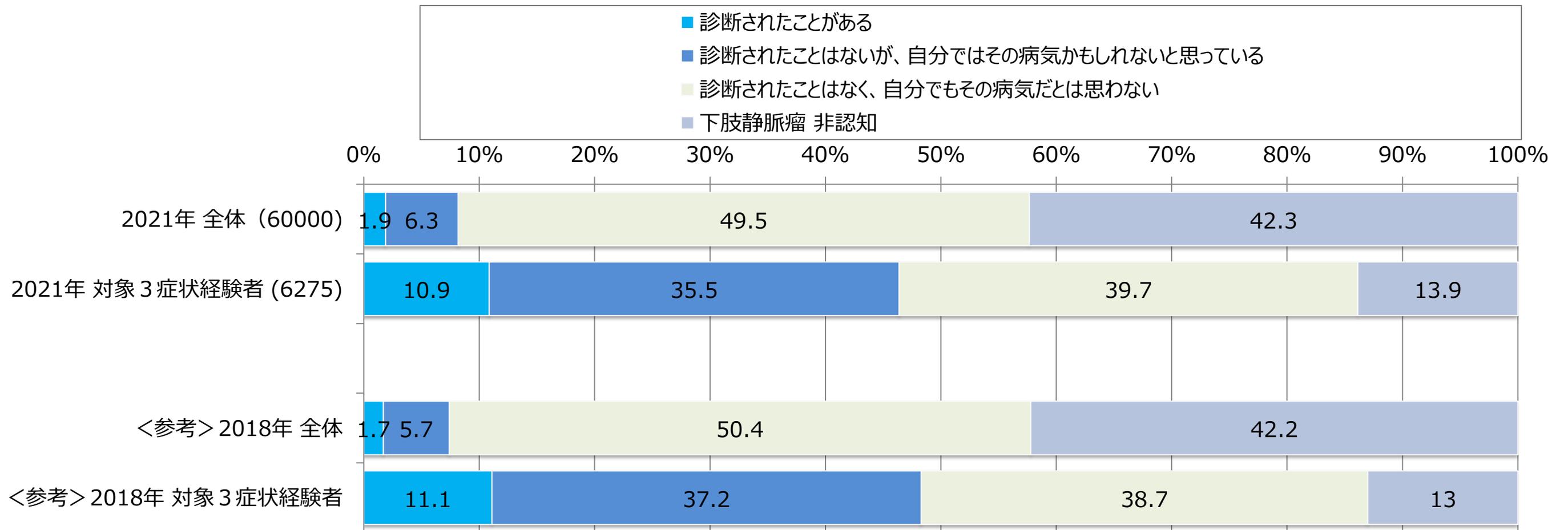
※「対象3症状経験者」：「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」のいずれか症状経験者

■ 下肢静脈瘤の診断率

疾患診断率は、症状経験者で10.9%で前回（2018年）と同レベル

「診断はされていないが、下肢静脈瘤だと思っている」は35.5%で、確定診断者と同じく前回（2018年）と同レベル

Q. あなたはこれまでに、病院で医師から「下肢静脈瘤」と診断されたことはありますか？



※「対象3 症状経験者」：「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」のいずれか症状経験者

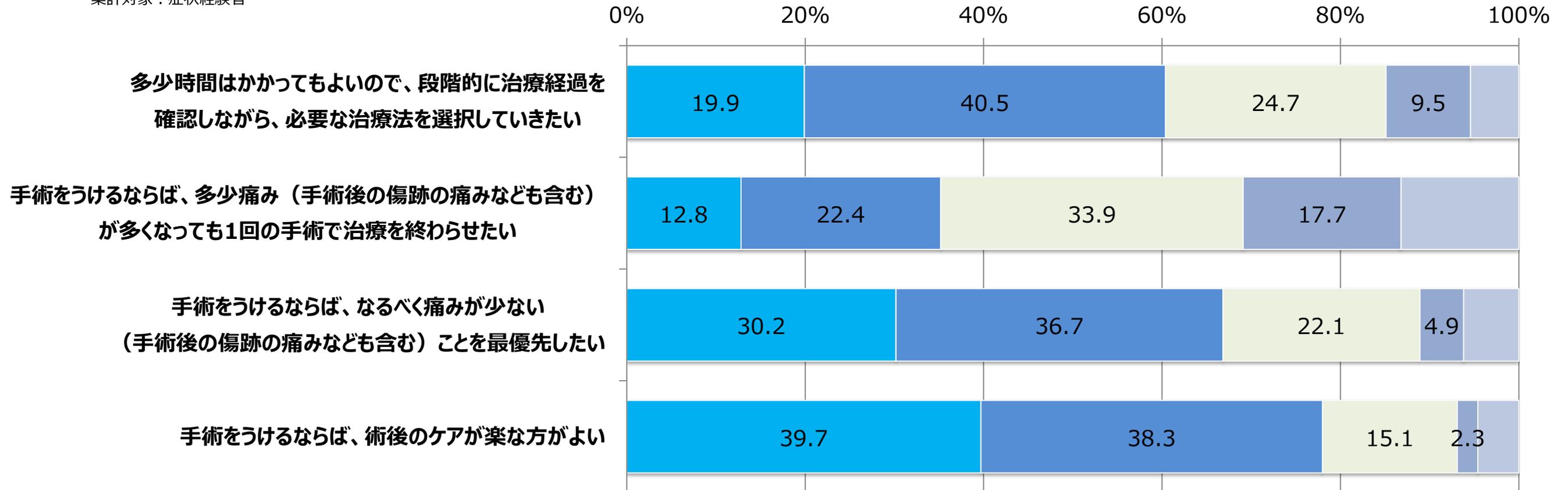
■ 求める治療・手術へのスタンス

「多少時間はかかっても段階的に必要な治療法を選択していきたい」が6割にのぼる

Q26 治療・手術へ求めること

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

集計対象：症状経験者



■ コロナによるライフスタイル変化と症状の認識（女性）

「症状が重い」と感じている人は、コロナ禍において運動不足になっているケースが高く、身体やQOLへの影響も高めの傾向

Q31 コロナによるライフスタイルへの影響

集計対象：女性の症状経験者

		運動不足に繋がる環境				身体への影響		対策				QOL	
		外出する機会が少なくなった	自宅で過ごす時間が増えた	立っている時間が短くなった	不規則な生活になった（食事、睡眠など）	体重が増えた	便秘になったことが多くなった	適度な運動（ウォーキング、ランニングなど）をするようになった	よりバランスのある食事をとれるようになった	血行をよくするため、飲み物や健康食品などを活用するようになった	弾性ストッキングを利用するようになった（頻度が高くなった）	スカートで過ごす時間が少なくなった	足の状態を含め、鏡で自分のチェックをすることが少なくなった
女性全体	(1834)	56.4	57.0	29.2	10.8	35.6	15.4	20.1	11.1	7.2	6.5	17.0	10.7
症状が気になる	(1196)	57.4	58.9	31.5	11.6	37.8	16.8	20.9	11.8	8.0	8.0	18.4	12.0
症状が気にならない	(638)	54.4	53.4	24.9	9.2	31.5	12.9	18.5	9.9	5.6	3.8	14.4	8.2
症状が段々悪くなっている気がする	(401)	58.4	60.1	33.2	13.7	40.6	18.7	23.7	13.2	9.5	10.5	19.7	15.2
症状が段々悪くなっている気はしない	(1433)	55.8	56.1	28.1	10.0	34.2	14.5	19.1	10.5	6.6	5.4	16.3	9.4
症状が重いと感じている	(200)	60.5	58.0	34.5	17.0	42.0	23.0	25.5	17.5	15.5	12.5	26.0	17.5
症状が重いとは感じていない	(1634)	55.9	56.9	28.6	10.0	34.8	14.5	19.4	10.3	6.2	5.8	15.9	9.9

(%)

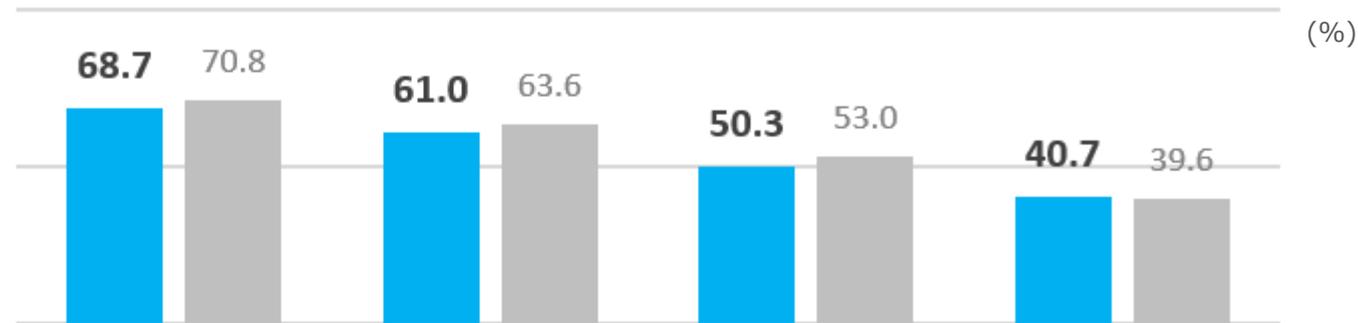
■ ウェブサイト「知ってください下肢静脈瘤のこと」閲覧後の評価

閲覧後、約7割の人が「疾患への関心が高まった」としている

Q28 啓発サイト閲覧後の評価

■ 全体 (2475) ■ <参考> 2018年全体

集計対象：症状経験者



		「下肢静脈瘤」への関心が (より) 高まった	「下肢静脈瘤」について色々調べてみたいと思った	病院に行って自分の症状を相談してみるのがよいと思った	最新の治療法を試してみたいと思った
	全体	(2475) 68.7	61.0	50.3	40.7
性別	男性 計	(641) 64.9	56.2	47.1	41.7
	女性 計	(1834) 70.1	62.6	51.4	40.4
女性年代別	女性30代	(188) 70.7	64.9	51.1	44.7
	女性40代	(301) 75.1	67.4	50.2	39.2
	女性50代	(322) 67.1	59.6	50.3	37.3
	女性60代以上	(1023) 69.4	61.8	52.1	41.0
<参考> 2018年全体		70.8	63.6	53.0	39.6